

平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イデアインターナショナル

コード番号 3140 URL <http://www.idea-in.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 雅治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営情報部長 (氏名) 松原 元成

TEL 03-5446-9505

四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	3,799	△3.9	46	—	△16	—	△60	—
25年6月期第3四半期	3,953	△5.8	△28	—	△59	—	△83	—

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 △60百万円 (—%) 25年6月期第3四半期 △83百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	△32.85	—
25年6月期第3四半期	△112.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	2,598	—	86	—	3.3	—
25年6月期	2,069	—	△498	—	△24.1	—

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 86百万円 25年6月期 △498百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,554	11.2	90	—	57	—	53	—	71.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期3Q	2,737,000 株	25年6月期	791,000 株
② 期末自己株式数	26年6月期3Q	48,672 株	25年6月期	48,642 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期3Q	1,847,344 株	25年6月期3Q	742,437 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の監査手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成26年6月期第3四半期連結累計期間(平成25年7月1日～平成26年3月31日)における連結売上高は、キッチン家電及びトラベルグッズ等を中心に商品ラインアップを強化したことによりオリジナル商品売上高は前年比を上回り、また2月に合併したリレント化粧品事業の売上70百万円が加わりました。しかしながら前期に閉鎖した3店舗分の売上減少の影響を受け、3,799百万円(前年同期は3,953百万円)となりました。

利益については、オリジナル商品・海外ブランド商品の売上比率が向上したことより売上総利益率が前年同期比で0.1%改善され、各種経費の見直し、人員の適正配置を行い大幅な経費削減に努めたことにより、営業利益は46百万円(前年同期は28百万円の損失)、経常損失は16百万円(前年同期は59百万円)となりました。また四半期純損失はリコール損失19百万円など特別損失42百万円を計上したことにより、60百万円(前年同期は83百万円)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業においては、オリジナル商品売上高は好調に推移したものの、商品リコールの影響もあり売上高2,057百万円(前年同期は2,152百万円)、営業利益は449百万円(前年同期は539百万円)となりました。

住関連ライフスタイル商品小売事業においては、消費税増税前の駆け込み需要もありEコマースは前年比を大きく上回り、既存店も計画通りに推移いたしましたが、前期に閉鎖した3店舗分の売上減少により、売上高1,668百万円(前年同期は1,795百万円)となりました。既存店の継続的な経費コントロールに加え、インターネット販売が各種販促施策により前年を上回る伸びで利益貢献したことにより営業利益は165百万円(前年同期は117百万円)となりました。

リレント化粧品事業においては、リレント化粧品販売が固定客に対して安定的に売上が見込め、また2月より健康コーポレーションのOEM商品の生産を開始したことにより、売上高70百万円、営業利益12百万円となりました。

その他においては、売上高は3百万円(前年同期は5百万円)となりました。

以上の結果、売上高は3,799百万円(前年同期は3,953百万円)、営業利益は46百万円(前年同期は28百万円の損失)、経常損失は16百万円(前年同期は59百万円)、四半期純損失は60百万円(前年同期は83百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、2,598百万円(前連結会計年度末は2,069百万円)となり、529百万円増加しました。

流動資産は、2,172百万円(前連結会計年度末は1,710百万円)となり、462百万円増加しました。これは現金及び預金の減少(47百万円)等があったものの、受取手形及び売掛金(純額)の増加(135百万円)並びに商品及び製品の増加(332百万円)等があったことによるものであります。

固定資産は、425百万円(前連結会計年度末は359百万円)となり、66百万円増加しました。これは無形固定資産の減少(4百万円)があったものの、有形固定資産の増加(57百万円)及び投資その他の資産の増加(13百万円)等があったことによるものであります。

流動負債は、2,270百万円(前連結会計年度末は2,276百万円)となり、5百万円減少しました。これは支払手形及び買掛金の増加(202百万円)並びに長期借入金の流動負債への振替による短期借入金の増加(290百万円)等があったものの、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債の減少(411百万円)等があったことによるものであります。

固定負債は、241百万円(前連結会計年度末は291百万円)となり、50百万円減少しました。これはその他の増加(75百万円)があったものの、長期借入金の流動負債への振替による減少(126百万円)があったことによるものであります。

純資産は、86百万円(前連結会計年度末は△498百万円)となり、585百万円増加しました。これは減資等による資本金の減少(200百万円)等があったものの、減資及び第三者割当増資等による資本剰余金の増加(873百万円)等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年8月23日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

当社は健康コーポレーション株式会社の連結子会社となったことを契機に、同社の在庫管理方針を導入し、当該方針に合わせて棚卸資産の収益性の低下の認識・測定方法について第1四半期連結会計期間より見直しを行いました。

その結果、売上総利益及び営業利益が35百万円減少し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失が35百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	313	266
受取手形及び売掛金(純額)	360	496
商品及び製品	745	1,077
仕掛品	—	17
原材料及び貯蔵品	0	40
その他	290	274
流動資産合計	1,710	2,172
固定資産		
有形固定資産	186	243
無形固定資産	17	13
投資その他の資産	154	168
固定資産合計	359	425
資産合計	2,069	2,598
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	338	540
短期借入金	1,203	1,494
未払法人税等	5	0
引当金	12	19
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	411	—
その他	305	215
流動負債合計	2,276	2,270
固定負債		
長期借入金	290	164
その他	0	76
固定負債合計	291	241
負債合計	2,568	2,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	300	100
資本剰余金	238	1,111
利益剰余金	△975	△1,062
自己株式	△62	△63
株主資本合計	△498	86
純資産合計	△498	86
負債純資産合計	2,069	2,598

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	3,953	3,799
売上原価	2,021	1,938
売上総利益	1,932	1,861
返品調整引当金戻入額	6	5
返品調整引当金繰入額	7	6
差引売上総利益	1,931	1,859
販売費及び一般管理費	1,959	1,813
営業利益又は営業損失(△)	△28	46
営業外収益		
デリバティブ評価益	18	—
その他	1	1
営業外収益合計	20	1
営業外費用		
支払利息	26	27
為替差損	19	1
株式交付費	—	15
デリバティブ評価損	—	9
その他	4	10
営業外費用合計	50	64
経常損失(△)	△59	△16
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	4	6
減損損失	18	17
リコール損失	—	19
特別損失合計	23	42
税金等調整前四半期純損失(△)	△81	△59
法人税等合計	2	1
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△83	△60
四半期純損失(△)	△83	△60

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△83	△60
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△83	△60
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△83	△60
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年9月25日付で、健康コーポレーション株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、資本金が303百万円、資本準備金が303百万円増加しております。

また、平成26年2月1日付で、機動的かつ効率的な運営を推進するための資本政策に備えるための無償減資を実施いたしました。この結果、資本金が504百万円減少し、その他資本剰余金が504百万円増加しております

さらに、平成26年2月1日付で、日本リレント化粧品株式会社を吸収合併いたしました。この結果、その他資本剰余金が65百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が100百万円、資本剰余金が1,111百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (百万円) (注)3
	住関連ライフ スタイル商品 製造卸売事業 (百万円)	住関連ライフ スタイル商品 小売事業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	2,152	1,795	3,947	5	—	3,953
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,152	1,795	3,947	5	—	3,953
セグメント利益	539	117	656	—	△684	△28

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オフィス・店舗空間のコンセプト・デザインを企画する空間プロデュース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△684百万円は、各報告セグメントに配分していない当社及び子会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「住関連ライフスタイル商品小売事業」セグメントにおいて、18百万円の固定資産減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (百万円) (注)1	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	住関連ライ フスタイル 商品製造卸 売事業 (百万円)	住関連ライ フスタイル 商品小売事 業 (百万円)	リレント 事業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高							
外部顧客への売上高	2,057	1,668	70	3,796	3	—	3,799
セグメント間の内部売上高 または振替高	0	—	—	0	—	△0	—
計	2,057	1,668	70	3,796	3	△0	3,799
セグメント利益	449	165	12	627	—	△581	46

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オフィス・店舗空間のコンセプト・デザインを企画する空間プロデュース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△581百万円は、各報告セグメントに配分していない当社及び子会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「住関連ライフスタイル商品小売事業」セグメントにおいて、17百万円の固定資産減損損失を計上しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、日本リレント化粧品株式会社を吸収合併したことに伴い、事業セグメントの区分方法に「リレント事業」を追加しております。